

令和2年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書

事業名	子どもの子どもによる子どものための学習交流会
事業者名	常松貴裕
事業の目的 (事業を実施しようと思ったきっかけなど)	小・中学生の勉強を高校・大学生が教える環境を作ります。勉強に限らず、学校生活や部活動な悩みなど先輩たちと相談しあえる環境を作ることで、子どもたちの主体性を育み、見識を広げられる居場所をつくります。
事業の実績 (日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など)	<p>1 子どもの子どもによる子どものための学習交流会</p> <p>日時：令和2年7月5日(日)より、毎月第1・第3日曜日14:00～17:00実施 場所：西部公民館（視聴覚室・第一研修室） 参加者：毎回30名程度 (小学生7名、中学生8名、高校生12名、大学生1名、大人2名)</p> <p>参加者の様子：小・中学生は学校の宿題やワーク、家庭学習で分からない所を持ち込み、高校生や大学生に教わっている。密にならないように教えるボランティア講師に対し、教わる人数は2人までとし、各席の間隔を空けながら実施している。参加者全員が手指の消毒やマスク着用を徹底し、換気や咳エチケットといった感染症対策に注意しながら取り組んでいる。参加した小・中学生の感想は、「楽しかった・分かりやすかった・話を聞いてもらえて良かった・次回も参加したい・分からない所が分かった・高校のことが知れた・勉強がはかどった」という声が多い。高校生・大学生の感想は「話を素直に聞いてくれて嬉しかった・伝えたいことを伝える難しさを自覚した・共通の趣味の話が出来た・勉強の仕方をアドバイスした・慣れてきた」という声が多い。参加者の多くから部活動や学校行事が無ければ次回も参加したいという希望を伝えられ、当ボランティア参加者に満足してもらえていると感じた。また、小・中学生の保護者の方々からも続けて欲しいという希望を伝えられ、当ボランティアのやりがいを感じた。</p>
その他 (課題、今後の予定など)	<p>感染症対策のため、当初は一部屋での開催予定であったが、二部屋借りることとなり座る配置などを考慮する必要性が生じた。</p> <p>高校生の参加者が多いため、部活動の大会により教える側の人数の確保に苦労した。</p> <p>大学生のボランティア参加者の集まりが当初の予定より悪かった。</p> <p>市内での急激な感染者の増加により、11月の二回目の活動をお休みせざるを得ない状況となった。</p>